

ピースあいち企画展

会場：ピースあいち プチギャラリー(2F)

期間：2019年3月5日(火)～ 5月5日(日)

展示パネル

◇チェルノブイリ原発事故関係

◇福島の被災写真

(写真家/飛田晋秀氏)

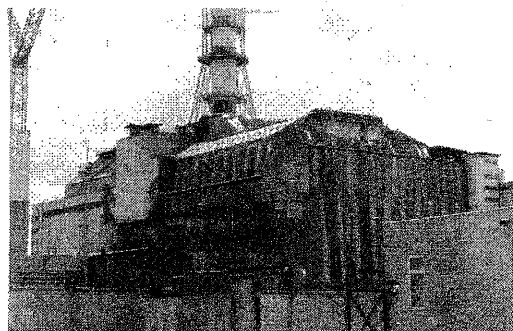
福島を忘れない！被ばくから8年

—チェルノブイリ原発事故から34年—

福島原発事故から8年。「福島は復興しつつある」との政府の姿勢とは裏腹に、避難地域の縮小や住民の帰還、放射能汚染廃棄物の現状、住民の健康被害など問題は山積し、解決の見通しは立っていません。

そのためにも、1986年に起きたチェルノブイリ原発爆発事故のことを福島と関連させ展示することで、福島の未来を考えて行く必要があります。チェルノブイリ原発周辺では、30年余経た今も原発周辺半径30^キ圏内は立入禁止区域です。一方、福島原発周辺地域では、年間被ばく線量1^{ミリ}SVを超えるような居住地でも帰還が政府の政策としてすすめられています。 ※SV=シーベル

チェルノブイリ原発事故



福島被災写真展

(写真家/飛田晋秀氏)

◆「福島とチェルノブイリ 現状は？」講演会

*期 日 3月 9日(土) 午後1時30分～3時

*会 場 ピースあいち 1階

*講 演 ①チェルノブイリ原発周辺の現状報告

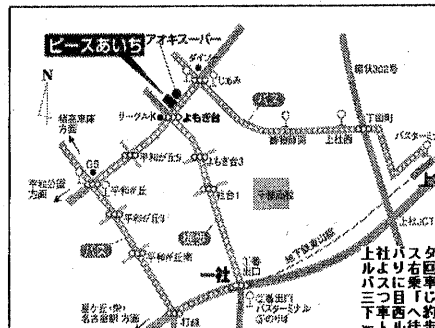
講師 戸村京子さん

(チェルノブイリ救援中部 初代理事長)

②福島原発事故から8年 — 現状は？

講師 河田昌東さん

(チェルノブイリ救援中部 理事)



「ピースあいち」

(地下鉄「一社」下車、北へ徒歩13分)